

まちづくり・建物保存への支援

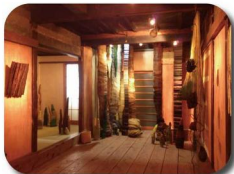
● 商店街へのアドバイス

歴史的景観を生かしたまちづくりを行っている2つの商店街のまちづくり諮問機関「川越町並み委員会」「大正浪漫委員会」に委員として参加し、専門家の立場から建物の新築・改修や看板のデザイン等に関して、アドバイスを行っています。



弁天横丁再生
札の辻の北東、市役所へ向かう道の一帯裏通りに、往時は飲み屋街として賑わった横丁があります。ここにある長屋の一角を蔵の会が借り、内外装を改修し芸術活動拠点として再生しました。新たな個性あるまちとしてこの横丁を再生していく契機と考えて、今後は周辺の空き家の再生・活用が連鎖的に起こるようなまちづくりを考えています。

川越町並み委員会
毎月の定例会議で新たに提出された案件について、施主や設計者、行政、商店街、近隣自治会長、商工会議所、まちづくりの専門家と交えて話し合われています。



● 建物の実測調査

取り壊しが決定、あるいは取り壊しを免れ保存が決定した伝統的建造物について、市からの委託や持ち主からの依頼により、実測調査による記録保存の活動を行っています。

実測調査
デザイン部会が中心に行っています。近隣の大学の学生にも参加を呼びかけ、蔵造りなどの古い建物の伝統的な工法などについて勉強してもらっています。

まちづくり活性化のための取り組み

● 様々なイベントによる町の活性化

川越が蔵造りの町並みとしてだけではなく、川越の伝統・文化を継承し、より魅力的なまちになるように、様々な取り組みを行っています。会員が企画提案し、商店街や地域の皆さん、行政、またある時は職人さんなどと協働し、楽しみながら、勉強しながらのまちづくり活動です。

河越太郎法要お茶会
毎年11月3日に行われる養寿堂で行われています。蔵の会の女蔵部では毎月茶道室を開いており、その発表の場でもあります。



● 伝統的建造物の保存のために

取り壊しの危機に直面している市内の伝統的建造物について、川越市へ保存のための要望書を出しています。これまでに旧川越織物市場や旧鏡山酒造の酒蔵群（現在の小江戸蔵里）などの保存活用へつなぐことができました。

古い建物のお掃除会や利活用
これは2002年の旧川越織物市場でのお掃除会。町なかの古い建物の空間を蘇らせて実験的な利活用することが、具体的な復原再生に結びついています。



様々なテーマでのシンポジウムや講演会の主催
写真は改修前の鏡山の蔵を使ったシンポジウム



学生支援
市内内外の小、中学校高校からの要請を受けて、まちづくりに関する出張講義を行っています。また、多くの大学生が川越のまちづくりにテーマにまちづくりに関し、学生への支援も行っています。



本町の長屋での職人さんの仕事の実演や展示
蔵の会では川越の文化を支えてきた職人さんをテーマに、仕事の紹介や仕事体験のワークショップなど様々な取り組みを行っています。



まち歩き企画
まちの中には、普段気付かない色々な色んな、色々なことがあります。まち歩きを楽しむはそんな「もの」や「こと」の発見です。



体験！川越の職人の技
改修前の鏡山の昭和蔵でのイベント。左官職人さんと一緒に壁塗りの体験。(2007年)



全国削ろう会川越大会
全国から顔自慢の職人が集まり、かんなの薄削りを競う大会で、蔵の会が実行委員会事務局を担いました。(2011年)
手仕事の素晴らしさ、道具の大切さ伝統文化の継承等を伝えるイベントです。



体験！川越の職人の技
鏡鍛冶が修理した、ふだん見ることのない大きな鋸を使った丸太切りの体験

アートイベントを主催
写真は改修前の鏡山大正蔵でのインスタレーション。このような蔵独特の空間を使った実験的なイベントも、活用へのイメージづくりに役立ちます。



蔵のまち
ライトアップ一番街商店街との協働で作った光のクリスマスツリーです。夜の川越の賑わいづくりに一役買いました。(2010・11・12年)
川越灯りと音と文化の祭典として範囲も広がりを見せています。(2013年～)



長屋バー
毎年7月の川越百万灯夏まつりに蔵の会事務局を開放して1日だけのバーを開催しています。道行く人々を誘い入れ、お酒を酌み交ししながらのまちづくり談義です。



除夜の鐘
1年の締めくくりとして、毎年大晦日に川越のシンボル時の鐘での除夜の鐘を実施しています。普段は見上げるだけの時の鐘ですが、川越のまちを見おろし、まちづくりに関して考えてみてはいかがですか？